

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名	教育委員会
-----------	--------------

基本計画	柱 人を育てる	担当局 / 総務担当課名 教育委員会	企画課
	大項目 まちづくりを支える人材の育成		
	取組みの方針 市民がいいききと学び合える環境の整備	連絡先 582 - 2357	

21年度計画

-3-(1)-

施策名	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供
------------	-----------------------------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	学習機会を充実し、学習情報を提供し、学習の成果を生かすことのできる活動機会を提供します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	市民がいいききと学び合える環境の整備

	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		計画	平成21年度		目標値	
	年度	平成21年度	年度	平成21年度		年度	平成22年度	年度	平成22年度
施策の成果	市民講座参加者人数		年度	平成21年度	計画	103,000 人	年度	平成22年度	
	市民センターにおいて、時事問題や地域課題の解決を目指す講座、心と体の健康づくりをめざす講座、趣味実技的な講座など、幅の広い内容の講座を行い、多様な学習機会を提供します。また、平成22年度までに参加者数105,000人を目指し、平成23年度以降については新たな計画に基づき推進します。	現状値	98,326人			実績	98,326 人	目標値	105,000人
						達成度	95.5 %		
		生涯学習推進コーディネーターの市民センターへの配置数		年度	平成21年度	計画	129 館	年度	平成22年度
	市民センター全館へ生涯学習推進コーディネーターを配置し、学習機会や人材等地域に関する様々な情報の収集と提供を行い、生涯学習の活性化を目指します。また、平成22年度までに全市民センターへの配置を目指し、平成23年度以降については新たな計画に基づき推進します。	現状値	78館			実績	78 館	目標値	129館
						達成度	60.5 %		
			年度		計画		年度		
		現状値			実績		目標値		
					達成度	%			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]				事業費	30,447 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
					うち一般財源	30,447 千円	13,035 千円		

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
	B	生涯学習の推進あたっては、学習情報を提供し、ライフステージに応じた学習機会の提供することができました。
今後の局施策の方向性	生涯学習の推進には、ライフステージに応じた学習機会の提供、学んだ人が次に活躍する場へと循環していく仕組みの確立、高等教育機関や民間教育機関等との連携、まちづくり・地域づくりを担う人材の発掘・育成等が必要です。このため今後、このような課題を検証した上で、平成23年度に「北九州市生涯学習推進計画」を策定し、より一層の生涯学習推進に取り組んでいきます。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価	下記のとおり
---	--------

施策名 多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]					21年度			21年度
黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業			千円	6,825 千円	特別経費(重点)			ウ	
事業費のうち一般財源			千円						
大里柳市民センター・門司図書館大里分館整備事業(図書館)			5,473 千円	2,250 千円	特別経費(重点)			ウ	
事業費のうち一般財源			5,473 千円						
生涯学習活動促進事業			17,548 千円	2,565 千円	裁量経費			ア	
事業費のうち一般財源			17,548 千円						
生涯学習推進コーディネーター配置事業			7,426 千円	1,395 千円	裁量経費			ア	
事業費のうち一般財源			7,426 千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						

局施策全体のコスト	21年度		
	事業費	人件費(目安)	
	30,447 千円	13,035 千円	
施策全体の事業費のうち一般財源	30,447 千円		

局施策の
21年度評価

B

【局施策評価】
A:大変良い状況にある
B:概ね良い状況にある
C:概ね良い状況とまでは言えない
D:不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	教育委員会	生涯学習課
連絡先	582-2385	

基本計画	柱	人を育てる
	大項目	まちづくりを支える人材の育成
	取組みの方針	市民がいきいきと学び合える環境の整備
	主要施策	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供

関連計画	北九州市中心市街地活性化基本計画
事業期間	平成21年度～平成39年度
経費区分	特別経費(重点)

-3-(1)-

事業名	黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業
-----	----------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	文化・生涯学習・コミュニティ活動を通して人が交流する場や、快適に憩える都市空間を整備することにより、副都心に相応しい都市機能の充実と地域の回遊性の向上を図り、黒崎の活気と賑わいを再生させます。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		当初計画	黒崎副都心「文化・交流拠点地区」の整備 PFI事業者の公募・選定 PFI事業契約の締結 事業用地の一部買戻し	基本設計・実施設計 建設工事 図書館資料購入	建設工事 図書館資料購入 事業用地の買戻し	建設工事 図書館資料購入 7月施設オープン 維持管理・運営		維持管理・運営	
現状		PFI事業者の公募・選定 PFI事業契約の締結 事業用地の一部買戻し	基本設計・実施設計 建設工事 図書館資料購入	建設工事 図書館資料購入 事業用地の買戻し	建設工事 図書館資料購入 7月施設オープン 維持管理・運営	維持管理・運営			
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標		
	「文化・交流拠点地区」の整備					計画	PFI事業者の公募等	年度	平成24年度
	PFI事業による図書館、ホール、広場などの整備に向け、施設の設計などを進め、平成22年内に工事着手を図り、平成24年夏オープンを目指します。					実績	PFI事業者の公募等	内容	平成24年夏の供用開始
						達成度	%	年度	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月[21年度:執行額]					事業費	千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
						うち一般財源	千円	6,825 千円	
単年度計画	[図表: 単年度計画の推移]								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 平成21年7月にPFI事業者の公募を行った結果、平成21年12月に学識経験者等で構成されるPFI事業者検討会の審査において、九電グループを優秀提案者として選定、市において、落札者として決定しました。その後、市議会の議決を経て、PFI事業契約を締結するなど、当初計画どおり進捗しました。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	図書館、ホール、広場等を整備することにより、文化・生涯学習・コミュニティ活動を通して人が交流する場や、快適に憩える都市空間が実現するなど、施策に対する事業の有効性は高いと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	民間資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用したPFI事業(BTO方式)により事業を進めます。本事業については、従来の公共事業発注方式に比べ、「効率性(施設整備と維持管理運営の一体による使いやすく(運営しやすい施設)」、や「経済性(性能発注・一括発注による事業費の削減、事業期間内における財政負担の平準化など)」の面で効果が見込まれます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	本事業は、中心市街地活性化基本計画(平成20～24年度)の主要プロジェクトであり、計画期間内の平成24年夏のオープンを目指し、現工程のとおり、計画的で着実な取り組みを進めていく必要があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	図書館、広場・緑地については法令に基づき整備するため、市が実施します。また、ホールについては文化振興、地域住民の文化活動発表の場の確保の観点から、市が実施することが適当です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	本事業は施策に対する有効性が非常に高く、「多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供」、「芸術・文化によるまちづくり」、「人が交流する場や、快適に憩える都市空間の確保」を図っていく上で、重要な事業です。今度も目標の達成に向け着実な取り組みを進めていきます。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	教育委員会	中央図書館庶務課
連絡先	571-1481	

基本計画	柱	人を育てる
	大項目	まちづくりを支える人材の育成
	取組みの方針	市民がいきいきと学び合える環境の整備
	主要施策	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供

関連計画	
事業期間	
経費区分	特別経費(重点)

-3-(1)-

事業名	大里柳市民センター・門司図書館大里分館整備事業(図書館)
-----	------------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	門司図書館大里分館は昭和48年に大里柳市民センターとの合築施設として開館しましたが、老朽化による設備の深刻な劣化や、ゆとりのない配架などを改善し、車椅子利用者にも配慮したバリアフリー化を図るため、市民センターと併せて図書館の建て替えを行います。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供		成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		大里柳市民センター・門司図書館大里分館の整備(図書館)							
	現状	基本・実施設計	建設工事	建設工事 供用開始	-	-	-	-	
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標
		門司図書館大里分館の整備					計画	基本・実施設計	年度
門司図書館大里分館は、市民センターとの合築であるため、関係部局と協議を重ね、利用しやすい図書館として整備します。					実績	基本・実施設計	内容	建物竣工 共用開始	
					達成度	-	%		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]					事業費	5,473 千円	事業にかかった 人件費の目安(21年度)	
						うち一般財源	5,473 千円		2,250 千円
単年度計画									

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 関係部局と協議を行い、計画どおり基本・実施設計が完了しました。

【事業の再検証】				
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4 4 3 3 4	4	延床面積を広くし、専用エレベーターを設置するなどバリアフリー化された図書館に建て替えることで施策の実現に大きく貢献すると考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。		4	市民センターとの合築施設として整備されるため、経済性・効率性が高まると考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		3	老朽化した施設の建て替えを休止することは施策に大きく影響すると考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。		4	公共図書館として整備するため、市が実施します。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	平成23年夏のオープンを目指して、整備を進めます。	

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	教育委員会	生涯学習課
連絡先	582-2385	

基本計画	柱	人を育てる
	大項目	まちづくりを支える人材の育成
	取組みの方針	市民がいきいきと学び合える環境の整備
	主要施策	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供

関連計画	北九州市教育行政総合計画(いきいき学びプラン)
事業期間	昭和38年度～
経費区分	裁量経費

-3-(1)-

事業名	生涯学習活動促進事業	
-----	------------	--

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	「いつでも、どこでも、誰でも」自由に学習ができるよう、学習機会を充実し、学習情報を提供します。また、学習の成果を生かすことのできる活動機会を提供します。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	成果
				市民講座参加者人数

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	生涯学習市民講座の実施 参加者数 103,000人	105,000人	新計画に基づき実施予定					
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		生涯学習市民講座参加者数						計画	103,000 人	年度
		市民センターにおいて、時事問題や地域課題の解決を目指す講座、心と体の健康づくりをめざす講座、趣味実技的な講座など、幅広い内容の講座を行い、多様な学習機会を提供します。平成22年度までに参加者数105,000人を目指し、平成23年度以降については新たな計画に基づき推進します。						実績	98,326 人	内容
								達成度	95.5 %	105,000人
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度・執行額]						事業費	17,548 千円	事業にかかった 人件費の目安(21年度)	
							うち一般財源	17,548 千円	2,565 千円	
単年度計画								上記人件費の他、各区まちづくり推進課生涯学習係が関わっています。		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	参加者数は目標値に達しなかったものの、各市民センターでは地域の特色を生かした講座や、市民の学びのニーズに合った内容の講座を企画・実施しており、その結果、講座開催数は平成20年度よりも増加し、市民に多様な学習機会を提供することができました。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	市民に身近な市民センターで多種多様な講座を開催し、市民の様々な学習ニーズに応えることができました。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4: 高い 3: やや高い	4 講師にセンタークラブやボランティアを活用するなどして効率的に実施しました。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2: やや低い 1: 低い	4 地域を取り巻く課題が複雑化、多様化する中で、住民同士が支えあい、地域課題を自主的に解決する取り組みが重要になってきている。このような地域活動を支援するためにも、多様な学習機会の提供や地域人材の育成など生涯学習の積極的な推進が必要になっていると考えています。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	4 社会教育、生涯学習の機会提供や環境整備は市の役割となっており、その一環として実施している当該事業についても積極的に推進していきます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	地域特色を生かした講座、市民の学びのニーズに合った内容の講座を実施していきますが、参加者の固定化傾向もあるため、生涯学習推進計画の中で、市民講座等の企画、運営のあり方について検討します。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	教育委員会	生涯学習課
連絡先	582-2385	

基本計画	柱	人を育てる
	大項目	まちづくりを支える人材の育成
	取組みの方針	市民がいきいきと学び合える環境の整備
	主要施策	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供

関連計画	北九州市教育行政総合計画(いきいき学びプラン)
事業期間	平成2年度～
経費区分	裁量経費

-3-(1)-

事業名	生涯学習推進コーディネーター配置事業
-----	--------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民センター等での生涯学習活動の活性化を図るため、地域で生涯学習を推進できる人材を育成し、学習機会や人材等地域に関する様々な情報の収集と提供などを行う「生涯学習推進コーディネーター」を配置します。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由			
		現状	129館	129館	新計画に基づき実施予定						
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標		
		市民センター(全館)への配置数						計画	129 館	年度	平成22年度
		市民センター全館へ生涯学習推進コーディネーターを配置し、学習機会や人材等地域に関する様々な情報の収集と提供を行い、生涯学習の活性化を目指します。また、平成22年度までに全市民センターへの配置を目指し、平成23年度以降については新たな計画に基づき推進します。						実績	78 館	内容	129館
						達成度	60.5 %	年度			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月(21年度・執行額)						事業費	7,426 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)		
							うち一般財源	7,426 千円	1,395 千円		
単年度計画											

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	地域づくり、生涯学習活動の拠点である市民センターにおいて、地域の人材として、市民の生涯学習の推進及び市民センターの活性化を目的に生涯学習推進コーディネーターを配置しています。目標である全市民センターに配置するまでには至っていませんが、目標に向け引き続き地域人材の発掘・育成を図っていきます。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	生涯学習推進コーディネーターは、市民センターでの生涯学習事業の企画・運営や館報の作成等情報提供に参画しながら、地域と市民センターとのパイプ役として活躍しており、生涯学習の推進、地域づくりに貢献しています。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4: 高い 3: やや高い	4	生涯学習推進コーディネーターには、地域の人材を登録したり、育成しながら配置したりするなど、効率的・効果的な運用に努めています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2: やや低い 1: 低い	4	生涯学習推進コーディネーターは、市民センターにおける生涯学習事業の活性化に貢献しており、引き続き市民センターへの配置を促進していく必要があると考えています。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。		4	生涯学習推進コーディネーターは、市民センターでの生涯学習事業等を支える重要な人材であり、その発掘や育成のためには一定の市の関与が必要と考えています。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	生涯学習推進コーディネーターの配置は、地域での人づくり、まちづくりに重要な役割を持つため、今後とも全市民センターへの配置を目標として、その発掘や資質向上に取り組み、生涯学習の一層の推進を図っていきます。	